

〔科目名〕 卒業研究				〔単位数〕 4単位		〔科目区分〕 卒業研究科目	
〔担当者〕 黄 年宏 コウ トシヒロ						〔授業の方法〕 演習	
〔演習テーマ〕 ミクロ経済学・労働経済学の分野についての研究							
〔演習内容〕 本卒業研究では、ミクロ経済学・労働経済学の分野だけでなく、学生の興味・関心のある分野において自らテーマ（検証可能な社会・経済の現象や課題）を設定し、経済学の分析方法を用いて、その背後にある経済メカニズムを解明する。さらに、先行研究を参考にしつつ、自らの分析結果に基づいて卒業論文を作成する。具体的には、以下の5つの手順を卒業論文作成の流れとする。 1 テーマは自らの興味に基づいて設定し、新規性、有用性、検証可能性を考慮して研究方向を決める。 2 研究テーマの背景を調査して、問題意識に基づいて仮説や問いを立て、それを調べる。 3 テーマに関連する先行研究を調査・精読して整理する。 4 これまでに学習した理論分析あるいは実証分析の知識を生かして、研究テーマに関する分析を行う。 5 最終的には、研究背景、先行研究、分析方法、分析結果、結論などをまとめた卒業論文を作成する。							
〔科目の到達目標〕 自らの興味を起点に、明確な研究テーマと仮説を設定できる。 先行研究や文献を批判的・論理的に整理し、自身の研究に反映させられる。 経済学の理論・実証手法を用いて、検証可能な分析を計画・遂行できる。 分析結果を踏まえて論理的な結論を導き、卒業論文としてまとめ、発表できる。							
〔ディプロマ・ポリシー（DP）との関係〕							
学部				学科			
DP1 ○	DP2 ○	DP3 ○	DP4	DP1	DP2 ○	DP3 ○	
〔前提条件〕 特になし。							
〔学修の課題、評価の方法〕（テスト、レポート等） 研究に対する取り組み姿勢と卒業論文で指導教員が総合的に評価する。（100%）							
〔教科書等〕 学生の選択したテーマに合わせて適切なものを演習で指示する。							
〔実務経歴〕 該当なし。							
授業スケジュール							
時期	テーマと内容						
第1回	テーマ（何を学ぶか）：オリエンテーション 内 容：卒業研究の目的・進め方の説明、学生の関心分野ヒアリング						
第2回	テーマ（何を学ぶか）：研究テーマの案出し 内 容：テーマ選定のポイント（新規性、有用性、検証可能性）の確認						
第3回	テーマ（何を学ぶか）：研究課題の設定 内 容：問題意識の明確化、研究目的・仮説設定、グループ内での意見交換						
第4回	テーマ（何を学ぶか）：先行研究の探し方 内 容：学術論文・新聞記事・政府統計等の文献検索手法と情報整理の方法						
第5回	テーマ（何を学ぶか）：文献レビュー（1） 内 容：関連文献の読み込みと要点整理、重要な概念や分析手法をまとめて共有						
第6回	テーマ（何を学ぶか）：文献レビュー（2） 内 容：先行研究の限界・課題点の洗い出しと、自分の研究に活かそうな着眼点の確認						
第7回	テーマ（何を学ぶか）：研究方法の検討（1） 内 容：比較静学などミクロ経済学の理論をおさらい						
第8回	テーマ（何を学ぶか）：研究方法の検討（2） 内 容：回帰分析の考え方、データ処理の基礎をレクチャー						

第9回	テーマ(何を学ぶか): 中間発表準備 内 容: 各自の研究計画を整理し、プレゼン資料の作成を進める(テーマ・仮説・分析手法の方向性確認)
第10回	テーマ(何を学ぶか): 中間発表 内 容: 研究テーマ・仮説・文献レビュー状況などを報告し、フィードバックを得る
第11回	テーマ(何を学ぶか): 追加検討・データ収集(1) 内 容: 中間発表を踏まえた課題修正、公的統計・民間データベース・アンケート調査などの活用法の確認
第12回	テーマ(何を学ぶか): 追加検討・データ収集(2) 内 容: データ収集進捗状況の共有と課題整理
第13回	テーマ(何を学ぶか): 分析ツールの使用 内 容: Excel、SPSS、Eviews、Stata 等での基本集計・回帰分析
第14回	テーマ(何を学ぶか): 分析結果の検討 内 容: 仮説との整合性を検証し、新たな視点や仮説修正の必要性を検討、追加で深掘りする文献の確認
第15回	テーマ(何を学ぶか): 前半まとめ・ミニ発表 内 容: ここまでの成果を簡単に発表し合い、後半に向けて研究の方向性・執筆方針を確認
第16回	テーマ(何を学ぶか): 章立て・構成検討(1) 内 容: 論文全体の基本構成(序論・先行研究・分析方法・結果・考察・結論)を確認し、執筆計画を立案
第17回	テーマ(何を学ぶか): 章立て・構成検討(2) 内 容: 執筆に必要な文献・データ・分析結果を再整理し、各章の分量や執筆順序、締め切りなどの詳細をグループ内または個別に検討
第18回	テーマ(何を学ぶか): 序論作成(1) 内 容: 研究背景・問題意識・仮説を文章化し、論文の導入部分を作成(相互レビューを通じて論旨の一貫性と分かりやすさをチェック)
第19回	テーマ(何を学ぶか): 序論作成(2) 内 容: 前回のレビューを踏まえ、序論を補強・修正。研究目的・論文の流れが明確になるように見直し
第20回	テーマ(何を学ぶか): 先行研究・文献レビュー章(1) 内 容: 関連文献の要点整理、既存研究との比較から自らの研究の位置づけや独自性を文章化
第21回	テーマ(何を学ぶか): 先行研究・文献レビュー章(2) 内 容: 文献の引用形式や論旨の流れ(どのように先行研究が自分の研究を補強するか)を再点検
第22回	テーマ(何を学ぶか): 分析方法章(1) 内 容: 理論分析や実証分析(回帰分析など)の手順を明示し、読者が再現可能な形で書く(使用データ・推定方法・モデル設定を具体的に記述)
第23回	テーマ(何を学ぶか): 分析方法章(2) 内 容: 他者が読んで理解できるか確認しつつ、追加で必要な統計手法や変数定義などを補足
第24回	テーマ(何を学ぶか): 分析結果章(1) 内 容: データをグラフや表にまとめて提示し、初歩的な結果を文章化(仮説との関連性・有意差など、重要ポイントを分かりやすく説明)
第25回	テーマ(何を学ぶか): 分析結果章(2) 内 容: 相互レビューを行い、視覚資料の整理(図表番号やキャプション)や結果の解釈をさらに深める
第26回	テーマ(何を学ぶか): 考察・結論章(1) 内 容: 結果から得られた示唆や社会的意義、研究の限界点、今後の展望を整理し、自分の研究が持つ意義を強調
第27回	テーマ(何を学ぶか): 考察・結論章(2) 内 容: ドラフト全体を通読し、考察と結論が序論や仮説と矛盾なくつながっているかを検証。より明確な示唆に書き直す
第28回	テーマ(何を学ぶか): ドラフト全体の統合・相互チェック 内 容: 発表で得られた意見を踏まえ、レポートや分析を最終調整
第29回	テーマ(何を学ぶか): 最終発表(1) 内 容: 完成に近づいた論文をもとに口頭発表と質疑応答を行う。発表資料(スライドなど)の分かりやすさや時間配分、想定質問への回答などを確認
第30回	テーマ(何を学ぶか): 最終発表(2) & 提出 内 容: 引き続き発表が必要な受講生がいる場合は実施。全員分の発表後、修正点を反映して最終版の論文を提出。最後に総括と今後への展望を共有